

やさしさのあるまちづくり

バリアフリー対策

安全・安心・快適なまちづくり事業
1,500万円

民間施設のバリアフリー改修への助成に加え、新たに子育て支援施設の整備も助成対象に追加します。

バリアフリー対策事業
2億2,190万円

道路や歩道の改良に加え、冬期や夜間の歩行者の安全を確保する「誘導ブロック融雪システム」や「知らせるあかりシステム」を増設します。

手話通訳者などの養成
90万円

手話奉仕員養成講座の開催や手話通訳養成講座受講に対する助成をします。

子育て支援対策

子ども医療費助成事業
3億1,500万円

義務教育終了まで医療費を全額無料化します。

母子保健事業
1億566万円

特定不妊治療に対する助成などを継続するほか、14回の妊婦健康診査の助成対象検査項目を拡大します。

子育て支援金支給事業
1億円

出産から育児までの子育てにかかる経済的負担を軽減するため、第1子、第2子は10万円、第3子以降は20万円を支給します。

子どもにやさしいまちづくり推進事業
488万円

子育て支援の設計図となる「子どもにやさしいまちづくり計画(後期:平成22~27年度)」を策定するほか、保育園庭の開放、託児ボランティア団体への助成、乳幼児家庭教育学級などを開催します。

乳幼児保育等助成事業
1,800万円

無認可保育所の乳児保育や延

長保育、障がい児保育などへの助成のほか、第1子、および第2子の保育料軽減をさらに拡充します。

保育料軽減事業(公立・私立)
5億1,067万円

第1子、および第2子の保育料軽減をさらに拡充します。また、第3子以降は、引き続き無料化します。

私立幼稚園就園奨励補助事業
5,300万円

第1子、および第2子の保育料軽減をさらに拡充します。また、第3子以降は、引き続き無料化します。

健康・福祉対策

介護保険事業
75億7,566万円

保険給付のほか、介護保険料を月額4,900円から4,800円に値下げします。

結婚相談所設置事業
417万円

出会いイベントなどを開催し、結婚相談・支援を充実します。

予防接種事業
1億4,083万円

1歳から中学3年生までのインフルエンザ予防接種の受診料金を助成。自己負担1,500円で受けることができます。

医師確保等支援事業
1億900万円

医療機関の非常勤医師確保への助成について、対象となる診療科をさらに3科増やします。また、院内保育への助成を行います。

24時間電話医療相談事業
600万円

飛騨市、白川村と共同で健康・医療・メンタルヘルスなど多様な医療相談に24時間体制で対応します。

救命救急センター運営助成事業
4,000万円

救急医療を守るため、高山赤十

平成21年度は、まちづくりの指針である第七次総合計画の前期基本計画の仕上げとなる重要な年です。
 新年度予算では、後期基本計画の策定をはじめ、新しい事業や拡充された制度がたくさんあります。そうした取組みについて、総合計画の分野別・地域別目標ごとに主なものを紹介します。

今年の予算
ピツクアップ

字病院内に設置されている救命救急センターへの助成を拡充します。

小児夜間初期救急診療支援室
運営助成事業
306万円

昨年11月に久美愛厚生病院内に設置された小児夜間初期救急診療室への助成を行います。



小児夜間初期救急診療支援室
荘川診療所改築設計事業
250万円

昭和43年の建設以来、施設が老朽化している荘川診療所の改築設計を進めます。